



## 新年に当たり 謹んでごあいさつ申し上げます

本年は、明治6(1873)年に栃木県と宇都宮県が合併し、おおむね現在と同じ領域の栃木県が誕生してから150年の節目の年となります。皆様と共にこの記念すべき年を迎えられますことを、大変うれしく思います。また、6月には、我が国で初めてとなるG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が日光市で開催されます。これを好機として、本県の魅力・実力を広く国内外に発信し、地域経済の活性化やブランド力の向上に努めて参ります。

さて、昨年開催された「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」につきましては、本県選手団の活躍に感動と勇気をもらうとともに、県民総参加により大きな成果を収めることができました。これもひとえに県民の皆様のおかげと心より感謝しております。今後は、スポーツを通じた地域活性化など、両大会で培われた有形・無形のレガシーを確実に継承して参ります。

一方、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、保健・医療提供体制の整備やワクチン接種促進に向けた取組を着実に進めますとともに、県民の命と健康、暮らしを守るため、必要な対策に万全を期して参ります。また、物価高騰などにより地域経済が大きな打撃を受けている状況を踏まえ、社会経済活動の回復に向け、強靱で稼ぐ力のある産業基盤の確立を図って参ります。

さらに、栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に掲げた本県の将来像「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気なとちぎ」を実現するため、本県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15戦略(第2期)」と連携し、各種プロジェクトをより積極的に展開して参ります。

特に、人口減少・少子化対策として、若者・女性が働きやすい環境づくりや安心して妊娠・出産、子育てができる魅力ある地域づくりに取り組んで参ります。また、経済発展と地域課題の解決を両立することができるとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、オール栃木体制による脱炭素化の取組を着実に進めていきたいと考えております。

時代の潮流を的確にとらえ、課題解決や魅力向上を図り、未来に誇れる「新しいとちぎ」づくりに全身全霊で取り組んで参りますので、県民の皆様により一層の御理解と御支援をお願いいたします。

令和5年1月

栃木県知事 福田 富一